



西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

10月号



小学校生活科 各評価規準における具体的な児童の姿の想定 ～「思考・判断・表現」について～

【円滑な幼保小連携・接続をめざして】

小学校の先生方にも知ってほしい
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」

【西部地域開催】 鳥取県エキスパート認定教員による 公開授業の御案内

このページより
参加申し込みアクセス!

【参加申し込み アクセス方法】

- ①教育センタートップページを開く
- ②「その他」の「エキスパート教員授業案内」をクリック!
- ③参観したい校種をクリック!
- ④一覧表に添付されている「ファクシミリ送信票」を開いて印刷
- ⑤必要事項を記入し、**実施校の学校長宛てにファクシミリで直接送付**

※公開授業ごとに実施日が異なるため、参加申し込みの締切日も異なりますので、御注意ください。
※3年目、6年目研修受講者が参観する場合は、その旨を記入してください。



生活科で「あきとあそぼう」の学習をする予定だけれど、評価が不安だな。

例えば、思考・判断・表現においては、①員付ける、②比べる、③たとえる、④試す、⑤見通す、⑥工夫する、などが示された分析的に考えること、④試す、⑤見通す、⑥工夫する、などが示された創造的に考えることを踏まえることが大切です。

単元の目標

第1学年 内容(5)「季節の変化と生活」 内容(6)「自然や物を使った遊び」
秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用して遊びの面白さに気づくとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようになる。

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用して遊びの面白さに気づいている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりしている。
1	①校庭や公園の秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気づいている。	①楽しみたい遊びを思い描きながら、校庭や公園の秋の自然の中から遊びに使う物を選んでいく。 ②諸感覚を生かして、校庭や公園の秋の自然に関わっている。	①秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもつて、校庭や公園の秋の自然と繰り返し触れ合おうとしている。
2	②校庭や公園の秋の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したこと、面白さに気づいている。	③遊びの約束やルールなどを工夫しながら、遊んでいる。 ④ 比べたり、たとえたり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。	②校庭や公園の秋の自然の様子や特徴に応じながら、それらと関わろうとしている。
3	③みんなですぐ遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。	④遊びには約束やルールを守って遊ぶと楽しいことに気づいている。	③みんなですぐ遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、毎日の生活を豊かにしようとしている。

小単元における評価規準

例) 観点: 「思考・判断・表現」

④**比べたり、たとえたり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。**

☆具体的な児童の姿☆
(例「ドングリボウリング」)



遊びに使う物について、前回と今回、友達と自分などを**比べながら、遊びを楽しんでいる。**

F児
松ぼっくりに当たったら1点にしよう。

それなら、松ぼっくりは5点で、ドングリの帽子は1点にしよう。

ドングリの方が高いうから、低い点数にしたらどうかな。



F児
友だちと交流しながら、的や置く場所を比べながら考えたり、もっと楽しくするための点数の設定を考えたりしているな。

この飛ばし方なら奥まで届くかな?

こっこのドングリの方が、真つぎに飛ばぶかもしれない。



因果関係などを**見通す**とともに、**繰り返し試しながら、遊びを楽しんでいる。**

F児
この飛ばぶの飛ぶ距離を予想しながら、どのようににはじくといいか繰り返し試しているな。

いろいろ**な約束やルールなどを試しながら、遊びを楽しんでいる。**



このお店に来た人は、どれに当たたら何点なのか知っているのかな?

そうか!何に当たたら何点なのかを書いておかないと、お客さんが分からないな。



F児
説明書を作ってみよう。

F児には、比べたり、繰り返し試したりすることに**加え、活動がより楽しくなるように、次の活動への思いや願いが生まれていきます。**このような状況から、「十分満足できる(A)」状況と判断することもできます。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より

小学校の先生方にも知ってほしい

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」

幼児期の子どもたちは、「遊び」を通して学びの土台となる資質・能力を身に付けていきます。この資質・能力を義務教育以降の学びにつなげ、伸ばしながら教科等の学びにつないでいくことが大切です。そのためには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手掛かりにし、園と小学校等が、共通な視点をもって子どもの姿をとらえていく必要があります。

「10の姿」とは、どんなものですか？

Q1

幼児期において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿を10個にまとめたものです。

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

A

※10の姿は「育ってほしい姿」であって到達目標ではありません。ですから、すべての子どもに同じように見られるものではありません。園では、「10の姿」を念頭に一人一人の発達に必要な体験が得られるような状況をつくり、必要な援助を行ったりしています。

どうして小学校等でも「10の姿」が必要なのですか？ 園のものではないのですか？

Q2

「10の姿」は幼児期においてのみ重要視されるものではなく、義務教育以降の学びの基盤となるものです。例えば、保育参観や子どもたちの交流といった場面で、園の先生と小学校等の先生が、「10の姿」という共通の視点に基づき、実際の子どもの姿について語り合うことで、より具体的に子どもの育ちと学びをつないでいくことができます。

A

例えば

幼児と児童の交流活動の中にどんな学びがあるのでしょうか？

【例 おもちゃまつり】 ※ 交流の前には、園と小学校等それぞれのねらいを共有してから実施しましょう。

「ぼくたち、的当て用のボールがいくつあるか数えてみたら50個もあったよ。」「あの一番小さい的の得点が一番高いよ。」「得点用紙に得点を書くから持ってきてね。」「ボールを投げるスタートの位置が遠すぎたみたいだからもう少し近くにしようか。歩幅で数えるといいかな。」などと、長さを測る活動が始まった。仲間と一緒に工夫をしながら、交流を楽しもうとする姿が見られた。

「10の姿」を視点にすると、様々な育ちが見えてきますね。

思考力の芽生え

協同性

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

check!言葉から想起されるイメージは各々異なるので、協議の際は「項目名」だけでなく「10の姿」の「説明文(文言)」にまで着目しましょう。例えば【数量や…】では、このような姿が示されています。

【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を手掛かりに子ども達の様々な育ちや学びを見取り、育まれつつある力をさらに伸ばしていくにはどうしたらいいか、園、小学校等それぞれの教育を見直していくことが大切です。

「架け橋期（5歳児から1年生の2年間）のカリキュラム」は、幼保小の先生が協働し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を手掛かりとし、策定していきます。

【参考】令和4年 文部科学省 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)





鳥取県エキスパート認定教員による 公開授業の御案内

西部教育局
令和6年10月

優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「小学校 外国語活動・外国語」

日吉津村立日吉津小学校

日吉津村日吉津872番地12

●授業者 青砥 聡子 教諭

授業日

10月4日(金)

9月27日(金)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:20~13:40
【公開授業】13:40~14:25 <<第5学年>>
【研究協議】希望があれば可能

●授業内容【单元名】
Lesson4 I can draw pictures well.
・ALTとの効果的な連携

認定分野

「中学校 美術」

境港市立第二中学校

境港市竹内町2438番地

●授業者 岩成 昭則 教諭

授業日

10月10日(木)

10月4日(金)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:15~14:45
【公開授業】14:45~15:35 <<第3学年>>
【研究協議】15:45~16:45

●授業内容【单元名】視点の冒険
・作品鑑賞したことで得た新たな発想や思考をもとに表現活動を行う
・新たな視点での表現力や思考力を育てる
・学習前後の表現の変容をねらった学習内容

認定分野

「小学校 国語」

米子市立淀江小学校

米子市淀江町西原244番地2

●授業者 吉田 温子 教諭

授業日

10月25日(金)

10月24日(木)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:30~13:45
【公開授業】13:45~14:30 <<第1学年>>
【研究協議】14:45~15:45

●授業内容【单元名】のりものことをしらべよう
・音読指導の工夫
・1年生に文章の中の重要な語や文に注目させるための手立て
・基本的な学習規律の指導

認定分野

「小学校 自立活動」

米子市立伯仙小学校

米子市尾高418番地1

●授業者 生田 祥子 教諭

授業日

10月28日(月)

10月24日(木)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:20~13:35
【公開授業】13:40~14:25 <<通級>>
【研究協議】14:35~15:35

●授業内容【单元名】集中して考えよう
・集中して考えたり、順序立てて考えたりするのが苦手な児童の学び方についての学習

認定分野

「小学校 外国語活動・外国語」

境港市立上道小学校

境港市上道町3026番地

●授業者 吉田 勝雄 教諭

授業日

10月31日(木)

10月24日(木)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:45~14:00
【公開授業】14:05~14:50 <<第6学年>>
【研究協議】15:05~16:30

●授業内容【单元名】Unit5 Where is it from?
・アウトプット活動を通じて、学ぶことを楽しみ、コミュニケーションに積極的な児童の育成をめざす授業